

2 はるかさんとお母さんが会話をしています。会話文1と会話文2を読んで、後の各問に答えなさい。

会話文1

お母さん：2020年5月に国立科学博物館で予定されていた特別展「和食～日本の自然、人々の知恵～」が、①新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため中止が決まったそうよ。

はるか：日本の食事の歴史や人びとの知恵について調べるのを楽しみにしていたのに、残念だなあ。

お母さん：このような状況だから仕方ないね。歴史や人びとの知恵といえば、昔の人も②感染症にかかったり、③感染症に対して様々な対応をしてきたりしたのよ。

問1 下線部①のために、様々な取り組みが行われています。はるかさんは、取り組みをアから団のカードに書き、グループに分けました。アとイのカードが同じグループだとすると、ウ、エ、団の中でア・イと同じグループに入るものはどれですか。最もふさわしいものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 医療機関が、自宅に居ながら遠くで医師の診察を受けられるような仕組みをつくる。
- イ 学校が、生徒を登校させずに、パソコンなどを使って見られる授業動画を配信する。
- ウ 鉄道会社が、マスクの着用を呼びかけるポスターを作り、駅に掲示する。
- エ スーパーマーケットが、店の入り口にアルコールなどの消毒液を置く。
- 団 飲食店が、ふだんは店で出す食事を、注文した人の自宅に配達するサービス始める。

問2 下線部②の歴史について関心を持ったはるかさんは資料を調べ、次のカードを作成しました。カード中の()に当てはまる人物名を、後のアからエの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

カード 鎌倉時代にまとめられたとされる物語(物語の一部分を現代語にしたもの)

感染症で命を落としたと考えられる()

入道相国*1は、発病された日から水さえものを通らない。体が高熱で熱い様子は、火をたいているようである。(略)ただおっしゃることは「熱い、熱い」とだけである。とてもただ事には見えない。(中略)

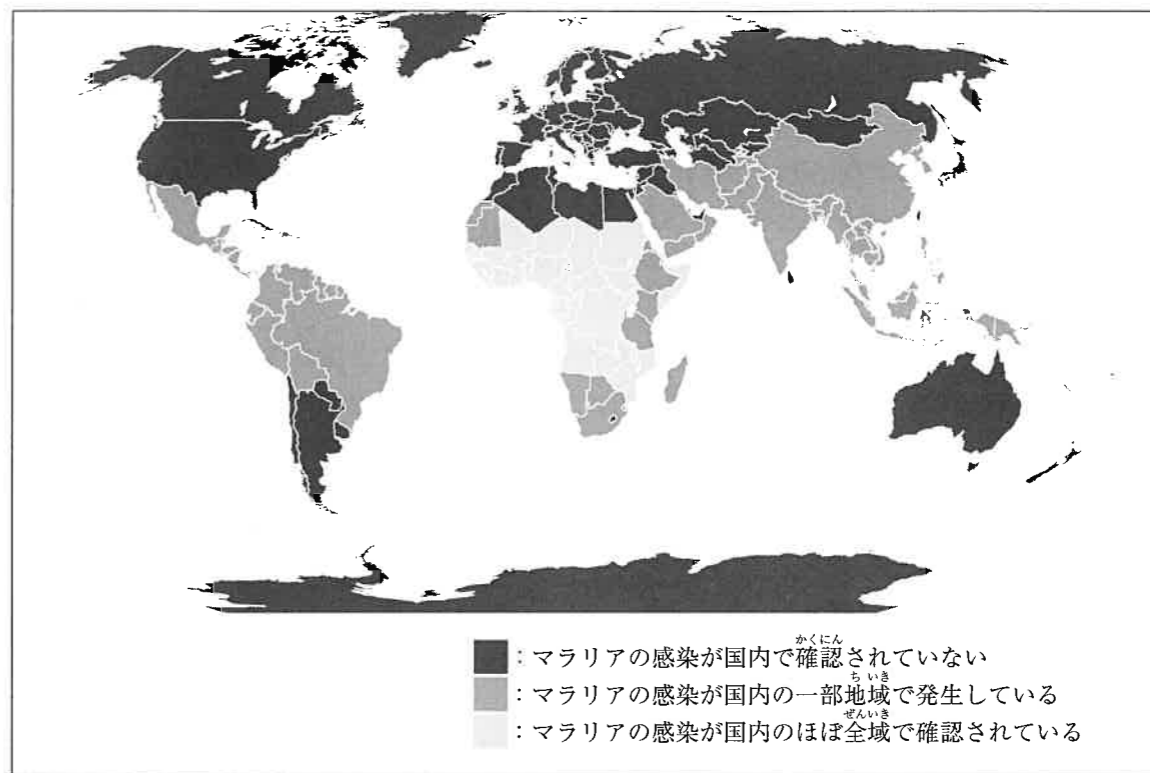
入道相国はふだんはあんなにも堂々としているのに、今はとても苦しそうで、息も絶え絶えにこう言った。「わたしは保元・平治以来、たびたび朝廷に歯向かうものをたおし、たくさんのほうびをちょうだいし、恐れ多くも天皇の祖父として太政大臣まで上りつめ、子孫までも栄華を極めた。(略)一つだけ心残りは、伊豆国の流人*2の首を見なかったことである。(以下略)」

注) 入道相国*1…入道とは、出家した人物を指す言葉。相国とは、太政大臣などをさす言葉。流人*2………罪人として辺境の地や島に流された人のこと。

- ア 藤原道長
- イ 平清盛
- ウ 源頼朝
- エ 北条時宗

問3 下線部②について、図1は、蚊によって感染が引き起こされる感染症である「マラリア」が発生する場所を示しています。図1から読み取れることとして正しいものを、後のアからエの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

図1



(CDC アメリカ疾病予防管理センター ウェブページより作成)

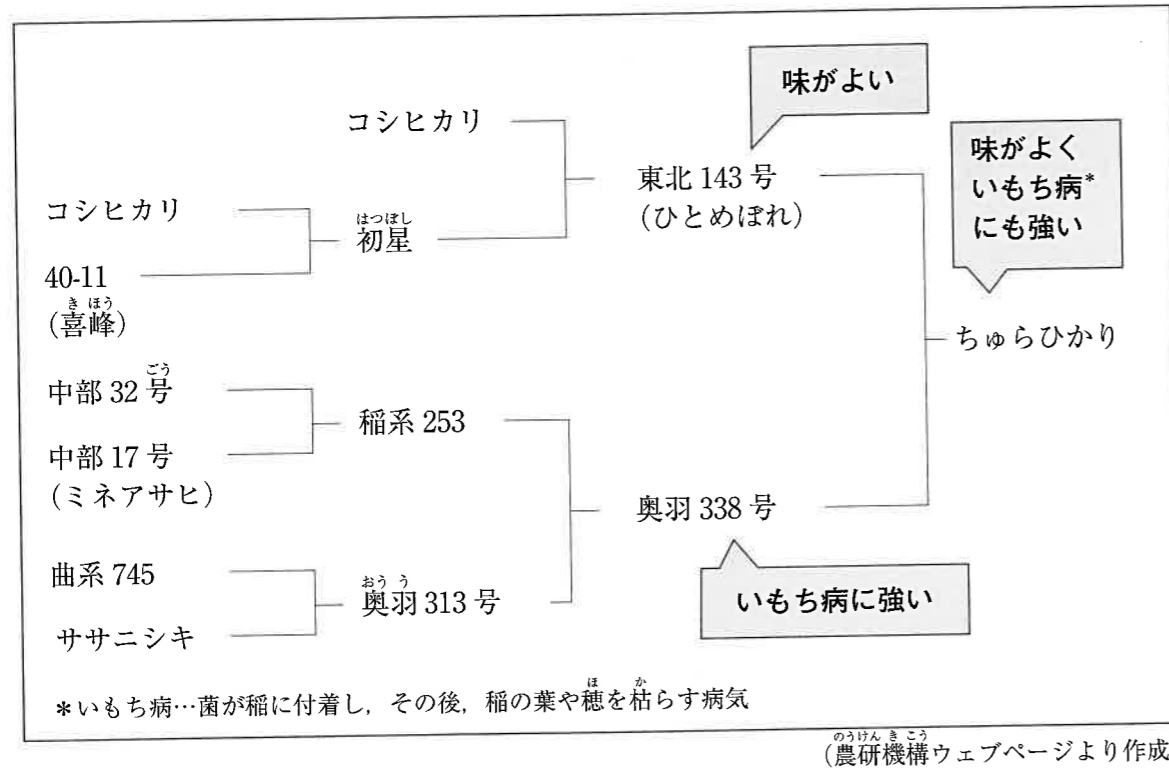
- ア 中国やインドでは、マラリアの感染が国内で確認されていない。
- イ 南アメリカ大陸は、マラリアの感染が国内のほぼ全域で確認されている国が半数以上を占めている。
- ウ アフリカ大陸は、マラリアの感染が国内のほぼ全域で確認されている国が半数以上を占めている。
- エ 北極や南極に近づくほど、マラリアの感染が国内で確認されている国が多くなっている。

問4 下線部③について、感染症に対する先人の対応について、時代の古いものから順にならべかえたときに、1番目と3番目に当たるものを次のアからエの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

- ア 細菌や伝染病の研究者の北里柴三郎は土筆ヶ岡養生園を設立し、国民病とよばれていた結核の撲滅に力を注いだ。
- イ 織田信長に京都での布教を許されたポルトガル人宣教師たちは、布教とともにハンセン病患者の病院を建てるなどの慈善活動を行った。
- ウ 日米修好通商条約を結んだこの年、長崎でコレラが流行し、オランダ人医師から西洋医学を習った医師が治療に当たった。
- エ 聖武天皇は天然痘の流行をおさえるために仏教の力を借りようと、東大寺に大仏をたてた。

問5 下線部③について、稲にも菌などが感染して起こる病気があります。そこで、図2のように、病気にも強く、おいしい米を作るために、様々な米をかけあわせてきました。このようなくふうをしていくことを何といいますか。漢字4字で書きなさい。

図2 「ちゅらひかり」ができるまで

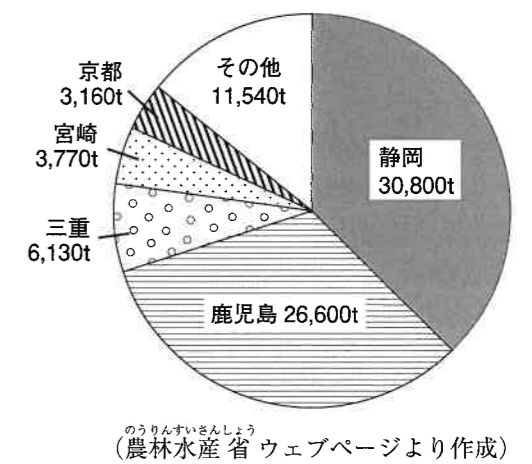


問7 下線部⑤について、お茶が日本に入ってきたのは奈良時代だと言われていますが、一般の人々にお茶を飲む習慣が広まったのは室町時代でした。次のアからオまでの中国と日本のつながりに関するできごとのうち、奈良時代から室町時代の間に起きたできごとを4つ選び、その記号を時代の古いものから順にならべかえなさい。

- ア 武士団をまとめ、貴族にかわって政治を行い、中国との貿易を進める武士が現れた。
- イ モンゴルの襲来に備えて、武士たちが幕府の命令により、博多湾に石塁を築いた。
- ウ 中国との正式な交流はとだえたが、中国の文化の影響を受けながら貴族たちによる国風文化が栄えた。
- エ 雪舟は中国にわたって水墨画を学び、後に日本風的水墨画を完成させた。
- オ 中大兄皇子と中臣鎌足が、中国から帰国した留学生とともに新しい政治を進めた。

問8 下線部⑤について、図3は日本国内で茶葉の生産がさかんな都道府県を示したものです。

図3 茶葉の生産量 (2017年)



(1) 図4のアからエは、茶葉生産量の多い、鹿児島県、三重県、宮崎県、京都府のいずれかを表しています。鹿児島県にあたるものをアからエの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

図4 鹿児島県、三重県、宮崎県、京都府に関連したデータ (2017年)

	人口 (千人)	面積 (km ²)	製造品出荷額 (億円)	農業産出額 (億円)	耕地面積 (ヘクタール)	野菜産出額 (億円)
ア	1,089	7,735	16,917	3,524	66,800	696
イ	1,626	9,187	20,676	5,000	119,000	657
ウ	1,800	5,774	105,034	1,122	59,300	141
エ	2,599	4,612	57,358	737	30,600	274

(「データでみる県勢」より作成)

(2) 静岡県でお茶の栽培がさかんな「牧之原」の南の沿岸部には、風力発電の装置が多く設置されています。同じ自然エネルギーを用いた太陽光発電と比べたとき、風力発電はどのような特ちょうをもっていますか。次の文の () にふさわしい言葉を、天気や時間の点から考えて書きなさい。

風力発電は風がふいていれば発電することができる。太陽光発電ではじゅうぶん発電できない () にも発電することができる。

会話文2

お母さん：食後の④お茶をいれたよ。
はるか：ありがとうお母さん。そういえば英語の授業で、⑤お茶のことを「tea (ティー)」と発音することを知ったから調べてみたんだけど、英語の「ティー」という発音は中国東部から伝わったもので、「チャ」という発音は中国南東部から伝わったものだって。
お母さん：へえ、そうなの。ちがう言葉だけど、もとは同じ中国の言葉なのね。
はるか：そう。それから、紅茶やウーロン茶、緑茶はみな、同じ⑥茶葉からちがう製法で作られているんだ。言葉や製法はちがっても、きっとお茶に様々な魅力があったから、世界中に広がったんじゃないかな。

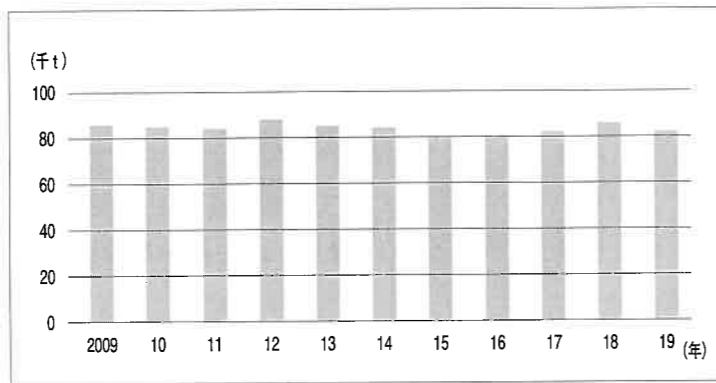
問6 下線部④について、急須などを使ってお茶をいれる飲み方は、江戸時代に中国から日本にもたらされました。このころ、江戸幕府は海外との貿易を制限していました。江戸幕府が対馬藩 (長崎県) を窓口として貿易していた国の名を書きなさい。

問9 下線部⑥について、はるかさんは図5・図6を見て、下の問いをたてました。この問いに対して、あなたはどのように答えますか。図7から読み取れることを使って説明しなさい。

図5 家庭の緑茶(葉)の購入量(一人あたり)

年	購入量(グラム)
2009	301
2010	307
2011	316
2012	290
2013	287
2014	294
2015	279
2016	280
2017	285
2018	268
2019	266

図6 全国の茶(葉)の生産量

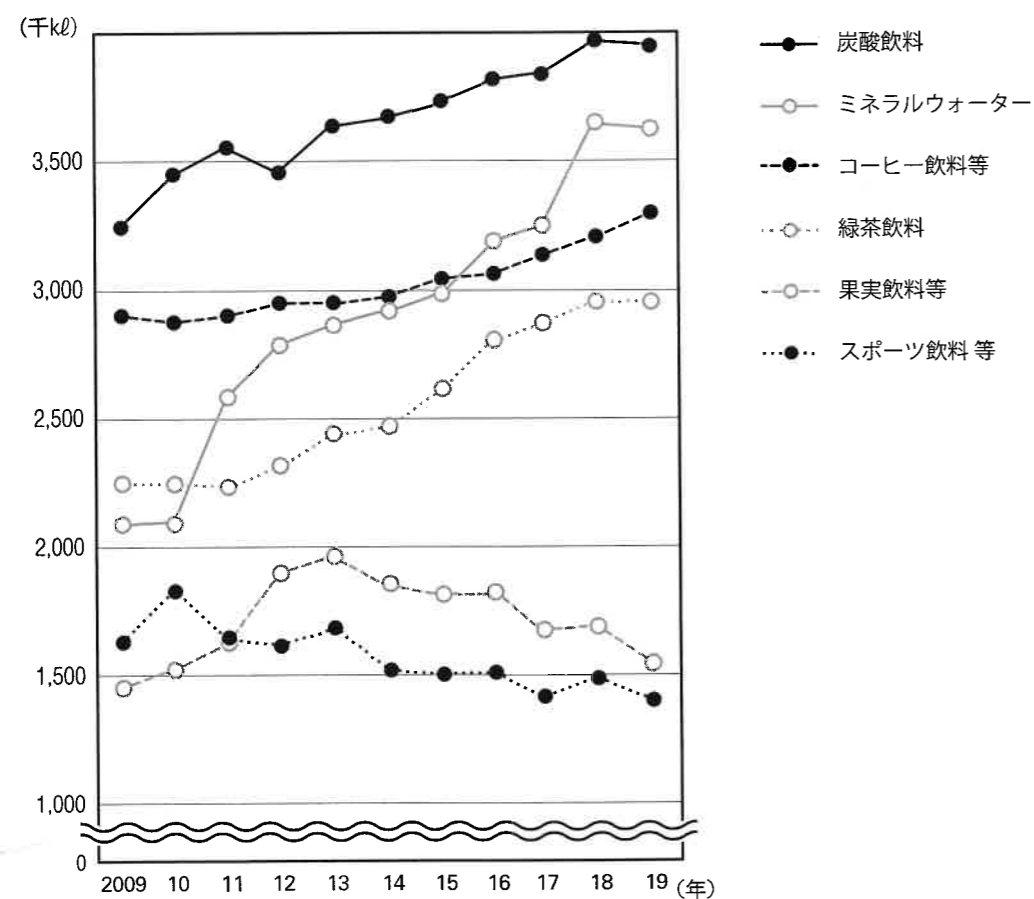


(農林水産省 ウェブページなどより作成)

問い

2009年と2019年を比べてとき、一人あたりの茶葉の購入量が減っているにもかかわらず、茶葉の生産量はこの10年ほどほぼ横ばいなのは、なぜだろう。

図7 清涼飲料水の品目別生産量



(一般社団法人全国清涼飲料連合会ウェブページより作成)

3 ある町内会で、3年生以上の小学生たちがドッジボールをすることになりました。小学生の人数は全部で24人で、どの学年も6人ずついます。

まず、試合をする上での基本ルールを次のように決めました。

基本ルール

- ・3年生から6年生までが3人ずつ入った12人で、2チーム作る。
- ・試合終了時に内野の人数が多い方が勝ち。
- ・最初に外野にいる人数(元外野の人数)は3人とする。
- ・投げられたボールが、ノーバウンドで内野選手の体に当たり、その後ボールがコート(地面)に落ちたときにアウトになる。アウトになった選手は外野に移動する。ただし、内野選手に当たったボールが空中にある間に他の選手がキャッチした場合はセーフとなる。また、頭や顔に当たったときはセーフとなる。
- ・相手チームの内野選手をアウトにした外野選手は、内野に移動できる。

次に、6年生たちが、「どの学年の子どもたちにとっても楽しく参加できるドッジボール」というテーマで、その他のルールについても話し合っ決めてことになりました。あなたも、この話し合いに参加している6年生の一人だとします。

話し合いのようすを示している会話文1と会話文2を読んで、後の各問に答えなさい。

会話文1

まさみ：どんなボールを使うことにする？
 かおる：ふつうのドッジボールでいいよね。
 たろう：ほくは、やわらかいボールがいいと思う。だって3年生など下級生も参加するから、こわがらせたり、けがをさせたりしてはいけないよね。
 りょう：そうそう、ほく、苦手だからやわらかいほうがいいよ。
 かおる：わたしは、ふつうのかたさのボールを使いたいなあ。投げやすいから。
 まさみ：下級生もこわがらないで、わたしたち上級生もみんなが楽しめるルールにしたいね。
 ゆう：投げ方にもよるよね。ボールのかたさとボールの投げ方を両方いっしょに考えたらいいんじゃない？
 あなた：そうだね。それなら、 ①

問1 ゆうさんの提案にそった形でルールに対する意見を言うとしたら、あなたはどのような意見を言いますか。 ① に入るあなたの意見を書きなさい。

会話文2

ゆう：他にはどんなルールが必要かな？

まさみ：公式のルールでは、味方の内野同士や外野同士でボールをパスしたり受け渡したりしてはいけないんだって。このルールはどうしようか？

りょう：今回はそのルールをなくしてみてもどうかな？

かおる：えっ？そのルールをなくすとどんないいことがあるの？

あなた：もし、味方の内野同士や外野同士でボールをパスしたり受け渡したりしてもいいとすれば、
② という良さがあると思うよ。

たろう：なるほど。今回は上級生と下級生がいっしょに楽しむドッジボールをめざしているんだもんね。

問2 会話文2を読んで、②に入るように、ボールをパスしたり受け渡したりしてもいいルールにした場合の良さを考えて書きなさい。

問3 学校や地域でいろいろな学年がいっしょに活動するとき、その活動がよかった、楽しい、またやりたいなどと思えるために、大切なことはどんなことだと思いますか。次の[条件]にしたがって、あなたの考えを書きなさい。

[条件]

- ・まず、大切なことはどんなことかを書くこと。
- ・次に、それが大切だと思った理由がわかるようにあなた自身の経験を一つあげて書くこと。
- ・100字以上150字以内で書くこと。
- ・段落を変えずに書くこと。

※ここから下は、解答を考えるために、自由に使ってください。

検査Ⅲ

答案用紙

問1		問2		問3	
問4	Ⓐ		Ⓑ		Ⓒ
問6	よくない点				
	どのように変えたらよいか				
問7					
問8	(1)		(2)		
	(3)				
問9					

問1		問2		問3		問4	1番目		3番目
問5									
問6						問7	→	→	→
問8	(1)		(2)						
問9									

受検番号	
------	--

3

問1										
問2										

↓ ここから横書きで書くこと。

問3											

※ここには何も書かないこと。

○

●

□

■

△

▲

受検番号	
------	--